平成 25 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 1 健やかな暮らしを支え、安全で快適に暮らせるはつかいち
 政策目標 4 子どもが健やかに育つまちに
 重点的取組 2 確かな学力を身につけ、社会をたくましく生きる子どもを育てる

担当課名	教育部 教育指導課		
予算科目	会計	01	一般会計
	款	09	教育費
	項	01	教育総務費
	目	03	教育振興費

事業名	小中一貫教育推進事業	事業開始年度	平成 21 年度
	小中一貫教育を推進するための支援	根拠法令 条例 個別計画等	・廿日市市教育振興計画

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	廿日市市立小・中学校の教職員	小・中学校9年間を見通して教育を行うことの必要性について、教員の意識を高める。 中学校区内の小・中学校が協働して小中一貫教育を推進する。

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
市	小・中学校	小中一貫教育を推進するための支援 推進計画の立案及び調査・研究

3 平成 25 年度 決算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

実施した事業の内容（活動実績）	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校への非常勤講師の措置（連携型） 小中学校の教員が、互いの学校の文化を知るために異校種へ乗り入れるために、異校種に乗り入れる日には、所属校の児童・生徒の学習環境を保障するため、非常勤教員を配置した。（延194時間） 小中学校のつながりを円滑に行うための支援 中学校区ごとに、小中合同研修会や合同公開研究会を実施し、授業研究等小中のつながりを意識した取組みを推進するために、県内外から有識者を講師として招聘した。（7校、延17人） また、中学校区の特色を生かした取組（小小合同行事・小中合同行事・成果物の作成等）を実施した。 施設一体型小中一貫教育を推進するための非常勤講師の措置（大野中学校区） 大野西小学校と大野中学校の一体型校舎の建設に当たり、9年間を見通した小中合同のカリキュラムの作成が必要となる。この中心として、小学校と中学校の両方で児童生徒を実際に指導し、小学校と中学校の連絡調整を図るための教員を配置した。（1064時間） 事業費関連 						
	【歳入】	雇用保険料 4,000 円					
	【歳出】	非常勤講師の措置（連携型）	510,220 円	非常勤講師の措置（大野中学校区）	2,798,320 円	合同研究会開催費（消耗品費）	134,956 円
		講師の謝金	234,000 円	郵便料		6,000 円	
		非常勤講師の旅費	16,057 円	児童送迎バス・タクシー使用料		68,830 円	
		講師の旅費	92,153 円	社会保険等		59,736 円	
	コスト情報（円）	項目		平成 24 年度決算	平成 25 年度決算①	①のうちH24から繰越	H25からH26へ繰越
		財源内訳	直接事業費 A	3,811,359	3,920,272		
			国庫支出金				
			県支出金				
借入金（市債）							
その他(使用料など)			10,441	4,000			
		市（市税など）	3,800,918	3,916,272			
		人件費(按分) B	0.24 人 2,105,280	0.24 人 2,036,640			
	総事業費(A+B)	5,916,639	5,956,912				
到達目標	活動	共通の目標を設定している中学校区の割合	%	100	100	100	100
		異校種に乗り入れた教職員の割合	%	62.3	70	74.7	80
	成果						